

『100年史』の編纂に着手

野球、吹奏楽班など、記念イベントの開催を検討

令和3年(2021年)を迎え、会員皆様には「清祥の段、心よりお慶びを申し上げます。日頃は母校のために格別なご支援を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナウイルスの感染拡大が止まりません。折しも、南澤道人氏(中学18回、93歳)が曹洞宗最高位の管長、並びに大本山永平寺(1244年創建)の貫首に就任されたことが、報道で大きく取り上げられました。この非常時にあたり、曹洞宗管長のお考えに心を持っておりまして、幸いにも「見解を拝聴する機会に恵まれました(電話談)。「地球の大地から宇宙に至るまで、



「人と人との繋がりの中でしっかりと生きていこう」(南澤道人貫首) 教育者としての長谷川五作先生(その十)

すべての生命が生きているという自覚の中で、自分も他人も互いを尊び、一人一人のつながりを大事に、しっかりと生きていこう。」と仰せられました。

新型コロナウイルスが武漢の風土病で終わらなかつたのは、グローバル化の負の遺産とも言うべきものです。それゆえ、現代は新興感染症が出現しやすい状況になり、同時にその対応が自国優先になりがちな現況もあります。が、国際協力が最善の解決策であると、南澤道人氏は指摘されたものと存じます。

教育者としての長谷川五作先生(母校勤務・大正12年・

1923年、昭和30年、1955年)について書かせて頂いておりますが、今回は、坂城支部総会(平成30年5月)と上田支部総会(令和元年7月)でお話ししたお話です。

中沢巳木氏(高4回・坂城支部)は、「現在、葡萄2反歩とバラを作っているが、農学校で学ばなかつた自分からできるのは、長谷川先生から生物学の基本を教えていただいたから」と述べられておりました。また、岡沢今朝仁氏(高6回・前上田支部長、令和2年8月ご逝去)は、在学中ご自宅庭のケヤキの木に産んだ鳩の卵を持って長谷川先生のところへ行く

と、先生は「鳩のヒナを育てることは極めて難しい。もし君が育てられたら生物の評価点5点をあげよう。」と言われ、同時に「鳩の餌はヒトの唾液を混ぜて与えるように」と指導されたとのことでした。

生徒会誌「ことだま」(昭和8年刊)の中でも、長谷川先生は「親鳩の胃中から出る消化液は、ヒトの唾液でも代わりになる」と記述されておられます。

◆ 新型コロナウイルスで予断の許さない状況の中、会員皆様の切なるご健勝、益々のご活躍をお祈りして、ご挨拶いたします。



「頑張れ、屋高生！前へ」

百周年記念史編纂委員会開かれる

令和2年9月6日(日)、同窓会館鳩屋代ホールに於いて、第一回編纂委員会が開かれた。出席した委員は本部役員を含め21名。80周年以降90周年までのグループと、それ以降100周年までの二グループに分かれ、編集の基本方針の確認と、作業分担について熱心な検討がなされた。

事業項目	令和		元年		2年		3年		4年		5年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
同窓会館建設	完了											
100周年史												
会員名簿												
記念式典												
実行委員会												
○実行委員会による募金活動												
記念イベント公募												

【お詫び】 73号の「春の叙勲」に関する記事の中で、鳥羽榮治様の表記に誤りがありました。心よりお詫び申し上げます。

【正】 瑞宝中綬章 鳥羽榮治氏(高11回) 上田市 信州大学名誉教授

第二回は11月15日(日)「写真」(記念史編纂の基本的方針や担当者の再確認等の後、(株)きようせいひの担当者から執筆要綱の説明を受けた。続いて令和3年度の委員会の日程の確認、担当者別の協議をして解散。編纂事業は漸く途に就いた。完成は令和5年上半期の予定。購入のご希望受付等については今後の会報「鳩」やホームページなどで逐次掲載、連絡を差し上げる予定である。

◆ 同窓会名簿の作成・頒布

百周年記念事業の一環として、「名簿」の作成にも着手しており、その概要は以下のとおり。

- ・販売価格 4,300円
- ・令和3年5月住所調査開始
- ・令和4年2月 販売予定

多くの同窓生にご購入いただきたい。

株式会社 サラト
〒670-0948
兵庫県姫路市北条宮の町172
TEL 079-2884-1380
FAX 079-2885-3095

The People of the Year 「今年度活躍した人」賞に7氏、生徒3名

卒業回期	候補者名(敬称略)	現職等	備考
中18回	南澤道人(93歳)	曹洞宗管長、大本山永平寺貫首	曹洞宗の管長、大本山永平寺(1244年創建)の最高位である貫首に就任(令和3年1月)。前任は、永平寺副貫首・札幌中央寺住職。
中21回	北野進(91歳)	技術史研究者、元岩村田高校長	『安曇野の産業遺産』、『信州創軌の軌跡』(信濃毎日新聞社)等で、千曲市の千代田製作所(現・サクラ精機)をはじめ、ユニークな企業の「ものづくりの原点」を著す。
高8回	児島保彦(83歳)	経営コンサルタント	コロナ禍の非常時にあたり、「非常事態に絶対負けない経営」(同友館)を出版。「99%失敗する意識改革も、今なら99%成功する」など、メリハリのある話題が好評。
高31回	櫻田大造(59歳)	関西学院大学教授(国際関係論)(大阪大学)博士	大学入試英語の変革期にあたり、「私の英語学習法」を「第17回屋高フォーラム」で誌上講演。
高37回	跡部隆(54歳)	JAXA宇宙航空研究開発機構博士(理学)	JAXAのハブマネジャー(Hub-manager)として、「はやぶさ2」の小惑星への探査計画の成功に貢献(カプセル回収隊をサポート)。
高66回	曾根務史(25歳)	名古屋大学大学院工学研究科(核酸化学)修了	ガン化する細胞の測定方法として、生命分子化学分野の方法(人工核酸SNA)を用いる研究の業績。
屋代高校関係	勝野麻理子	保健体育科教諭 女子バレーボール班顧問	女子バレーボールの指導者として、昭和56年(1981年)の創部以来初の県大会出場に導く(県選手権と新人戦に連続)。ご自身も高校でインターハイ出場、筑波大やユニバシアード・エドモントン大会(1983年)でも活躍。
	松本瞳子	3年4組 (女子ハンドボール班員)	中学時代の研究を継続し、長野県では「横断歩道で車が止まってくれる割合」が88%であることを県民性と関係づけて発表し、全国的な関心を呼ぶ。
	大曾根司昂	2年1組	「鉱石を用いたラジオ検波の最適条件の研究」で県学生科学賞を獲得し、全国審査に(L3.1月現)。「コロナ」で休校が続く中、自力の研究を深化させる。
	六川歩美	女子ハンドボール班員 (1年1組)	日本代表チームの登竜門といわれる、日本ハンドボール協会「ナショナル・トレーニング・アカデミー」に選抜される。全国で16名、北信越から5名。

令和2年度「マリーメイト鳩の会」

副会長 高山吉富(高19回)

今年の春には、新型コロナウイルス感染拡大の不安が一気に高まり、5月の開催は中止とした。夏場感染状況が少し落ち着きを見せ始めたが世間では様々なことから粛ムードのある中、親御さんからの切実な思いを感じ、9月の鳩の会は実施することとした。再び第三波感染拡大のニュースが拡がってきているが、12月末時点では2月のマリーメイト鳩の会は実施予定である。

◆ 永平寺貫首に南澤道人氏(中18回)

曹洞宗大本山・永平寺の最高位である貫首に、旧制中18回の南澤道人氏(93歳)が就任された。祝意として同窓会より祝電を差し上げたところ、下記のようなご丁寧なるご書面と共に、九谷焼茶碗(写真)をご恵贈いただきました。

「マリーメイト鳩の会」では、大勢の方にご参加頂くことにより、良い出会いが生まれます。一年はあつという間に過ぎます。先ず親戚や知人で息子さんや娘さんの結婚や御座られる方にもお話をしてみてください。ご連絡お待ちしております。(今年度の予定は別掲(第4面)の通りです)

◆ 現在も続いていますか。

- ・3名と
- ・2名と
- ・1名と
- ・会わなかつた
- ・いない
- ・子に任せている

4組 17組 4組 8組 7組 7組 3組



謹言 大本山永平寺不老閣 福山諦法大禪師猊下の御退董により、拙師浅学非才にもかかわらず本山八十世の御座を汚すこととなり、誠に懺悔の至りと慙愧に堪えませぬ。然し乍ら任に当たつて他に譲り難しとお示しもあり、老残の身もつて入山致しましたからには身たりといえども命の限り努めて参らねばと存じます。皆様方には何かとお世話になることと恐縮に思いますが、何卒よろしく御教導賜りますようお願い申し上げます。

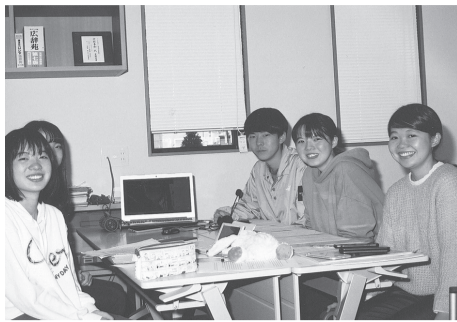
尚、入山の記念に粗品ですがご笑納下されば幸甚に存じます。寿の字は不老閣にあやかり命長しの意を含め、皆様のご多幸をお祈りして書き入れました。

令和二年九月吉日 南澤道人九拜 敬具

コロナ禍の中、鳩陵会館が活況

鳩陵会館は、床暖房のほか情報関係のWiFiが完備していることから、時節柄、オンライン会議等で先生方や生徒の皆さんにご利用いただくことが多くなりました。その現況を報告します。

オンラインによる デバイスコンテスト (10月21日)



理化班「温泉グループ」 のオンライン会議 (10月21日)

理化班顧問・清水加奈先生談「信州大学物質化学科・手嶋勝弥先生とオンライン会議を行いました。今年度、理化班温泉グループは、高山村七味温泉紅葉館にご協力いただき、温泉水を使って研究をしています。紅葉館の温泉は70℃と30℃の源泉があり、それぞれ透明のお湯は混ぜると炭のように黒くなることから知られています。私たちはこれまで10回以上温泉水の採取・調査を行い、手嶋先生の研究室にご協力いただき温泉水の分析を進めてきました。分析結果や手嶋先生とのディスカッションにより、炭色の湯ができる原因の一つは硫化鉄ではないかと現段階では推測しています。

10月21日は、校舎内でオンライン会議をする予定でしたが、使用できなくなり同窓会の宮原一治先生に柔軟に対応いただきました。同窓会館はインターネットの通信状況も良く、快適な環境で話し合いができ、心より感謝申し上げます。

判もよい。こういう使い方ができる会館を用意していただいた同窓会に感謝申し上げます。[写真]

柔道班保護者会 (10月25日)

文学講座 《徳高先生の文学講座》 (11月3日)

滝沢敏子(高34回)

ちょうど10年前に、卒業生を持つ母親たちの要請で始まったと聞いています。その文学の講座も今年で20回目を迎えました。私のように直接学生の時に先生の授業を受けた者も何人か講座に参加させていただいています。会員数は30名程ですが、年二回(7月と11月)の講座に常時参加する人は10〜15名くらい。「古事記」「源氏物語」「枕草子」「伊勢物語と古今集」「老子」「芥川龍之介」「夏目漱石」「小林秀雄」「俳句」「漢字学」など幅広い分野で徳高先生の楽しい語り口調での講義が魅力です。先生はまだ母校で高3生の古典の授業や受験指導をされているとのこと。

ハンドボール班父母会 (11月7日)

山本臣也(高43回)

班活動を支えて下さる父母の方々にお集まりいただき、日頃の班活動の在り方や学業との両立、体調管理、遠征やインターハイ出場等の御支援をいただきたくの説明など、年数回利用させていただいている。毎回30名前後の方々には鳩陵ホールに集まっていたらいい。が、広くて快適。父母からの評



附属中入試日の 保護者控室として (12月5日)

弦楽班クリスマス コンサート(12月21日)



同窓会主催 「法律の無料相談会」 (11月21日)

柳澤修嗣(高28回)

《新たに千曲市民も対象に》
同窓会会員の弁護士による無料法律相談会は、6月27日、11月21日、令和3年3月6日と3回実施する予定でした。残念ながら6月27日の回は、新型コロナウイルスの影響で相談会は中止となり、現時点では、11月21日に倉崎哲矢、山崎典久弁護士との協力の下実施され、同窓会員と千曲市民の方2名の相談を受けました。本年度は、同窓会会員とそ

支部トピックス

各支部のエピソード、百周年に向けてのご意見、ご要望等

桑原支部

支部長 宮崎一雄(高20回)
南澤道人禪師(旧中18回)
大本山永平寺貫首に就任
曹洞宗の大本山永平寺の最高位である貫首と宗教学者曹洞宗の管長に、本校の大先輩である元龍洞院住職南澤道人禪師(93歳)が、令和2年9月29日に就任された。禪師は昭和2年旧桑原村生まれ。旧中学18回卒の大先輩である。永平寺は福井県吉田郡永平寺町にあり、禪宗の一つ曹洞宗を中国の宋から伝えた道元が開祖。総持寺と並ぶ日本曹洞宗の中心寺院(大本山)である。山号を吉祥山と称し、

増生支部

支部長 市川泉(高14回)
被災地仮設住宅へ
表札を贈る宮坂氏
宮坂良夫氏(高21回)はエンジン部品などの木型を作る会社の社長。昨年7月から、最大震度6弱だった熊本県の山度(やまと)町などの仮設住宅に計410戸分の表札を贈呈。宮坂氏は11月に表札作

五加支部

支部長 村山和久(高17回)
瀬在幸安博士の故郷
瑞宝大経章受章・千曲市名誉市民第一号の瀬在幸安博士(高1回)は日大医学部を卒業後に心臓外科研究のためアメリカに留学。帰国後、日本でも初めて心臓の冠動脈バイパス手術に成功し、数多くの功績を残しています。平成8年には第10代日大総長に就任。3期9年を務められた。平成18年、千曲市の大経章を受章し、平成27年、千曲市の初代名誉市民となられた。我が支部の誇る大先輩である。なお、支部総会は中止。8月11日(土)に支部役員会を

屋代支部

支部長 清水昭晴(高21回)
会館建設寄付率61%の活動
我が支部の状況は、現在会員432名、うち役員幹事22名の構成。会報配布に合わせた会費納入訪問等、対面活動を基本としている。会員の支部への協力は高く、会費納入率もさることながら、同窓会館建設寄付率は61%に上った。同窓会とは「屋代高校と今の自分の立ち位置」を再認識する中、WinWinの関係にある、と地元支部が自ら負しているところである。なお、同窓会の活動が鳩陵会館を拠点とした、一層地域に開かれたものとなるよう祈念している。また、NPO法人「鳩の会」の導入も実効が(4面に続く)

第17回屋高フォーラム(誌上)

去る10月17日(土)に開催予定であった「屋高フォーラム」は、新型コロナウイルスの感染拡大により学校と協議の結果、生徒会誌「鳩陵」への誌上開催とさせていただきます。講師は、今年度の大きな話題である①新型コロナウイルスの感染拡大②「大学入学共通テスト」(思考力・判断力・表現力を問うことを重視した傾向への大きな変更)を踏まえ、次のお二人。

「英語入試改革に思う……私の英語学習法」

関西学院大学教授(国際関係論) 櫻田大造 氏

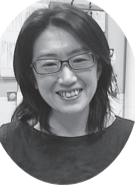


篠ノ井西中出、高校第31回。上智大外国語学部からシフト大、トロント大学でカナダ外交政策を専攻され、国際関係論が専門で、大阪大学博士(国際公共政策)。国連英検特A級、英検1級、TOEFL 637点(PBT)取得。

【要旨】
屋代高校で身に付けた英語力が、その後合計7年近くの米・加・ニュージールランドでの学生生活や研究者としての英語が活躍の場。英語学習は、ウェブが使えること、本音に感謝していただきます。ぜひ、来年も開けてあげてください。

「見えぬ感染症……新型コロナウイルスとの戦い」

国立感染症研究所・主任研究官 松岡佐織 氏



篠ノ井西中出、高校第43回。東京医科大学から東京大学大学院で医学博士。2009年「米国シトローウイルス会議若手研究者賞」を受賞され、主としてエイズワクチン開発分野で活躍中。

【要旨】
今なお流行が収束する見通しが立っていない、この感染症が厄介なのは、「新型」である故、ウイルスの特性がわからないこと、感染しても無症状の進行が、拡大防止を難しくしている。一方、基礎医学研究者は国内の重症化率の低下に着目し、我が国の特殊事情の機序に迫ろうと研究を進めている。

SSH生徒研究成果
合同オンライン発表会
(2月7日)

「I really appreciate what you've done for us」
年始は、学校は開いていないし、家は家族が見ているテレビがうるさいので、温かく集中できる同窓会館を開けて下さったことは、本当に感謝しています。おやつも嬉しかったです。ぜひ、来年も開けてあげてください。

英国で新型コロナウイルスに対するワクチンの第二号が承認され、感染拡大防止の一手として大きな期待がかかっている。ワクチンには、発症予防ワクチン、治療ワクチンがあり、承認されたワクチンは、症状を軽減する効果も期待され、治療ワクチンも重症化を抑え死亡率を低下させるなどの効果が期待できる。今後、接種後に十分な免疫が誘導されたかなど、長期的な視点で、検証を進めていくことが我々の任務と考

(3面から)
上げられつつあると受け止めて
いる。法人とは「法の下に
人格を与えられた社団」であ
り、「利益を出してもよいが配
当してはならない」というも
のであるから、その精神を活
かした更なる活動の飛躍を期
待したい。

百周年に向けては次のよう
な企画はどうだろうか。
(ア)記念誌または記念パンフ
レット、記念品を会報と共
に配布。
(イ)母校への記念植樹、または
記念品の贈呈。
(ウ)タカラジェンヌ朱紫令真さ
んの観劇ツアー企画、また
は講演会。

◆松代支部

支部長 窪田広夫(高20回)
会員減少・若い会員勧誘に苦慮
3月、8月に会報「鳩」の
配布、会費の徴収。今年にはコ
ロナ感染拡大防止の観点から、
本会の総会同様に役員会の承
認をもって総会としました。
会員の減少は、会員の高齢化
の為自然減となる事はしよ
うがないことですが、新しく若
い会員を勧誘することはな
かなか厳しいものがあります。
百周年に向けては百年史の
作成、後輩の学習環境の整備、
クラブ活動等への補助を強化
してほしい。

◆塩崎支部

支部長 清水信孟(高14回)
支部総会中止、メール審議
本会の支部長会、総会の中
止に準じ、当支部でも支部総
会は中止とし、三役によるメ
ール審議を経て、「令和1年
(2019年)度報告、令和2
年(2020年)度事業計画」
を作成し、8月の会報と同時
に配布し、本年度の支部総会
に代替えのお願いをいたしま
した。
(1)報告の概要
・本会状況報告
・支部状況報告
(2)令和元年度事業報告、会
計報告

(3) 令和2年度事業計画等に
ついて
①事業計画
・本会事業(会議)への
参加、支部会員の増強、
その他
②令和2年度塩崎支部役員
について
・三役、顧問1留任
・区幹事一部変更
③その他

◆川中島支部

支部長 池田哲彦(高17回)
会員減少・若年層の未加入
今後の在り方等についてア
ンケート実施
川中島町には、中津・御厨・
川中島の三支部があり、その
一角「御厨支部」が最近休止
に追い込まれた、との話を聞
きました。私も川中島支部
において、平成23年には
235名の会員を有して居り
ましたが、高齢化に伴い年々
減少し、令和1年には180
名と、実に55名の減少となり
ました。特に若い世代や女性
の加入者が少ないこと、役員
のなり手確保が厳しい等の現
状に、強い危機感を覚えてお
ります。

書籍・寄贈絵画の紹介
山寺邦夫(邦道)(高14回)
「死への準備」

著者は松代町の出身。幕
末の松代三山の一人、山寺
常山の末裔であり、現在は
千葉県船橋市にある曹洞宗
静寿庵の僧侶である。本書
は二部構成。第一部は「死
について」「臨死体験」「人
生の意味と目的」等の考察
であって、難解な部分もあ
る。第二部は、「戒名授与」
と「葬儀について」。各宗派
に亘って細かく説明してあ
り分かりやすい。終活への
標となる一冊である。
(相談役 徳高芳夫)

寄贈 松本邦秀氏(高22回)
「ロミオとジュリエット」

長野市生まれ。美術家とし
て活躍中。山ノ内町在住。



◆第67回同窓会
ゴルフコンペ

実施日:9月17日(木)
会場:南長野ゴルフ倶楽部
参加者:27名
優勝 清水佑一(高4回)
準優勝 村上 巖(高11回)
3位 小林 武(高16回)

◆第68回同窓会ゴルフコンペ

令和3年5月13日(木)
南長野ゴルフ倶楽部
長野市大岡中牧274の1
026-266-2000

同窓会定期総会のお知らせ(予定)

・期日...令和3年5月29日(土)
・時間...午後3時
・場所...鳩陵会館

結婚支援事業

「マリーメイト鳩の会」予定

第1回 5/16(日)
第2回 9/26(日)
第3回 令和4年2/13(日)
会場:同窓会館「鳩陵ホール」
時間:午後1時30分~3時30分
【申込方法・お問い合わせ】
同窓会ホームページをご覧ください。同窓会事務局(026-274-3310、平日午後2時~5時)までお問い合わせください。
【申込期間】 開催日の2週間前まで

「無料法律相談会」のお知らせ

第1回 6/26(土)
第2回 11/20(土)
第3回 令和4年3/5(土)
会場:同窓会館「鳩陵会館」
時間:午前10時~12時
【申込先】 屋代高等学校同窓会事務局(電話)026-274-3310
【受付期間】
各開催日の4週間前~1週間前までの間の平日午後2時~4時。電話のみの対応です。なお、定員になり次第受付終了となります。
※詳細はホームページをご覧ください。

ゴルフで親睦千曲鳩会 10万円のご寄付

今シーズンはコロナ禍の影響もあり、最初のコンペは若干出足が芳しくなかったものの、年8回開催し、延べ243名の参加がありました。先輩後輩の垣根は無く、勿論遠慮や付度も誰も致しません。「下手な横好き」の集まりの典型ですが、ゴルフ愛好の皆さん、是非参加してみても如何でしょうか。総会には赤地会長のご出席をいただきながら、来シーズンの再会を期しました。千曲鳩会会長 矢澤 修(高13回)

Table with 7 columns: 回, 開催日, 優勝, 卒業, 準優勝, 卒業, 3位, 卒業. Lists tournament results from 143rd to 151st.



会員計報(敬称略)

Table listing members with columns for name, birth year, and current year. Includes names like 宮本 貞司, 石坂 忠一, etc.

剣道班OB会(会長 前嶋 功氏)(高26回)より
ご寄付三万円
ありがとうございました。

新事務局長に
宮原一治氏(高25回)
徳永次男事務局長に代わつ
て、昨9月半ばより宮原一治
相談役が事務局長に、徳永次
男事務局長が相談役になりま
した。

郵便局 No.0057010144020
加入者名「鳩の会」
※同窓会事務局(026-274-3310)にご一報いた
ただければ「払込取扱票」をお送りいたします。

◆未納の方は、何卒ご協力をお願いいたします。
納入方法 左記のいずれかの方法で納入ください。
①会報「鳩」73号(令和2年8月1日発行)に同封の「払込取扱票」を使い、コンビニ又は郵便局でお振込みください。
②「払込取扱票」がお手元にならない場合は、事務局(電話026-274-3310)にご一報いただければお送りいたします。郵便局でお振込みください。
③郵便局から直接左記口座にお振込みいただくこともできます。
郵便局No.00550014114710
加入者名「屋代高等学校同窓会」

住所変更などのお問い合わせ

転居や結婚などで住所変更や改姓された方、ご逝去された会員の遺族の方は、お手数ですが同窓会事務局にご連絡ください。平日、午後1時30分から5時30分の間連絡いたします。なお、ホームページの「問合せ・変更」からも連絡いただけます。

鳩の目

世界中が新型コロナウイルスの泥沼に引きずり込まれてからほぼ一年が経った。「もうかつての生活には戻れない」とも言われている。手洗いや消毒も当たり前になり、マスク無しで自由に飲み食いし、喋り得た日常も、「新しい生活様式」の下に過去のものと違う。二度の緊急事態宣言の後、生活は「層窮屈」になっている。新型コロナウイルスがやがて収束していくだろうが、我々はこの未曾有の経験をどう活かして行くのか。政治、経済、文化、教育等のあらゆる分野で新たな在り方を模索していくか、あるいは「魂の故郷」はこの地に学んだ全ての者の「原点」であって、単なる回顧の材料ではない。「魂の故郷」で培った力を世界に示し、新たな「屋代」の在り方を展望する力としたいものである。

編集委員
徳高 芳夫(高19回)
吉川 正徳(高22回)
宮原 一治(高25回)
中宮由紀子(高40回)

令和3年2月9日現在
謹んで哀悼の意を捧げます。